

No.119
2018
12/21



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



第37回臨時大会報告

その②組合基金

私たちは丁寧な職場討議・事前議論を求めています

組合基金使用計画の大綱（案）について議論になりました。

【組合基金の提案に対して反対意見 八王子：金井代議員】

組合基金について全地本委員長会議では具体的提起が無かった。地本・支部・分会で議論した結果「組織財政検討委員会や組合基金運営委員会を開催して具体化した後に臨時大会を開催すべき」となった。よって東京・八王子地本で質問状を本部に提出した。内容は「財政が厳しい中で何故臨大開催なのか、財政厳しいなら専従者を減らすべき、組織財政検討委員会等で議論を積み上げて中央執行委員会で議論し、全地本委員長会議で提起すべき」と投げた。本部からは12月4日「組織拡大と強化という大きな課題の中で組織の存亡をかけて特別会計をつくり、15億円を切り崩す判断をした。組合基金運営委員会は開催していない。必要があれば開催する。特別会計の用途は全地本委員長会議で話をしている。それ以上でもそれ以下でもない」このような回答。切り崩す必要性は全く分からない。12月17日に健全な組織運営と財政の確立を求める要請書を3地本で提出した。私たちはあくまで健全な組織運営を求めている。組合基金を切り崩すのであれば大会審議だけでなく、その前に組織財政検討委員会等で大会討議にかける、それが健全な組織運営ではないか。先ほど今回の臨時大会の中止を求めるという事だけが強く言われていたが、私たちが求めているのは議論の積み重ねと中央執行委員会の熟慮、そして職場討議を保障することを求めている。中止という言葉だけを切り取って言うべきことではない。従って私は来年2月に開催される定期中央委員会、または6月の定期大会までしっかり熟慮を重ねて審議することを求める。

【組合基金の提案に対して賛成意見 横浜：梶田代議員】

組織の存亡をかけてガムシャラに組織を強化・拡大していくための運動方針と財政の再確立を図っていくとき。役員の本質、金銭感覚を含め徹底的に洗い出し総括を行ない同じスタートラインに立たないといけない。18春闘と大量脱退は別、総括には組織の力量の差がある、闘っていかない所は敗北になる、敗北とすれば19春闘は闘えない、何を根拠に言っているのか。表面的な総括しかできていないのでは？こだわらない回答、本部から長々と説明されたが全く耳に入ってこなかった。3地本の要請書、寝耳に水と言うが、横浜では組合員の声から敗北と総括し、70条逸脱も大敗北総括も素直に受け入れてもらった。今大会も11・4全地本委員長会議で方向性が示されているから何ら唐突感はない。むしろ18春闘指名スト戦術の方が唐突感があった。いつの間にかスト戦術行使が目的化していた…途中で発言打ち切り

採決：反対95 賛成154 棄権2

私たちは民主的な組織運営を求めます！